

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 8 日

事業名称		行政改革推進業務費 [使用料・手数料等の適正化（あり方検討）]									
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費	事業番号	5			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せあり）										
担当部署・課長名	行政管理 課				行政管理 係		課長名	木村 西			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 2			
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現							総合計画書（ページ）	122			
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	①基本方針に記載されている整理が必要な項目 →				①の項目数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 検討した項目の方向性が決定され、適正化が図られている。 →				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 検討した項目のうち、方向性が決定した項目数						
	③ そのために何をしましたか。 第5次行政改革大綱推進計画の取組項目である「使用料・手数料等のあり方」について東大和市使用料・手数料等検討委員会及び東大和市使用料・手数料等検討部会を開催し検討した。 →				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） ①東大和市使用料・手数料等検討委員会の開催 ②東大和市使用料・手数料等検討部会の開催						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	項目	4	4	4					
	成果指標	②の数値	項目	0	0	0					
	目 標	②の目標値	%	—	—	100.0					
目標値設定の考え方 見直した項目について方向性を決定し、使用料・手数料等の適正化を図る。											
	活動指標	③の数値	回	①0 ②0	①1 ②2	①2 ②5					
3 経費	事業費（実績）		円	0	122,432	124,797	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、 8,310,000 円 時間単価は、 4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 （退職手当組合負担金、共済費も含む。）				
	財源	一般財源	円	0	122,432	124,797					
		特定財源	円								
		(うち受益者負担)	円								
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人		0.3	0.6					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円		1,648,800	4,986,000					
	職員人件費(再任用)	円									
事業費+人件費		円	0	1,771,232	5,110,797						
4 環境変化等	(1) 開始年度 平成29年度										
	(2) 環境の変化 ・行政改革大綱に基づく使用料・手数料等の料金見直しについては、使用料手数料等の適正化を目的に第1次行政改革大綱（平成9年度から）取り組んでいる。 ・「使用料・手数料の見直しにかかる基本方針」を平成27年6月に策定した。 ・第5次行政改革大綱推進計画の取組項目である使用料・手数料等のあり方検討において、使用料・手数料について、受益者負担の適正化を図るため、負担のあり方等を検討している。										

事業名称	行政改革推進業務費 [使用料・手数料等の適正化（あり方検討）]			
担当部署・課長名	行政管理	課	行政管理	係 課長名 木村 西

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 令和元年第3回、第4回、令和2年第1回 市議会定例会、第20回「市長と語ろう会」（タウンミーティング）で、公民館等の施設使用料について質問があった。		
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）		
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点		
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 使用料・手数料等のあり方について、引き続き、検討を進める。		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 東大和市使用料・手数料等検討委員会の開催 東大和市使用料・手数料等検討部会の開催		
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 検討した項目について方向性を決定する。		
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）		
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 検討結果報告書に基づき、決定した項目について基本方針に反映させる。		
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
	基本方針の改定		